

## ◆ 2022 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：早稲田大学本庄高等学院河川研究班

25A-14

代表者：学院長 半田 亨

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

本校では 2009 年から埼玉県本庄市内の河川環境改善活動を行っており、その主な活動の1つとして、本庄市立藤田小学校 5、6 年生と連携して行う市内 2 河川（小山川、元小山川）の合同河川調査やその事前指導・事後指導などの年 10 回の総合学習授業と、3 月に市民向けの「川のシンポジウム」を実施している。

コロナ禍で活動が制限される中でも進められることとして、河川調査の同定作業において手ごろな図鑑がなく、苦勞していたことを考え、本庄市内の河川で確認できる生物に特化した図鑑を作ることを思い立った。藤田小学校で 2006 年から蓄積されている調査データに基づき、確認された種と上流に住む種、現在は採取が難しくなった種、要注意外来種などを集めた図鑑「ほんじょうの川の生きもの」を作成した。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2021 年 1 月より過去 15 年分の河川調査結果の確認や、掲載種の選定を始めた。本校河川研究班メンバーが説明文を分筆した。藤田小学校では配布した PDF データ版をタブレットで見られるようにし、掲載種の絵を描き加えた。埼玉県魚類研究会代表の金澤光氏の監修のもと、データの校正を行い、印刷版 108 種と 9 つのコラム等を含む A5 判 52 ページの内容をまとめた。図書刊行会や目黒寄生虫館から貴重な写真や記事の寄稿をいただき、子どもだけでなく大人も楽しめる図鑑を目指した。

### 3. 活動の成果

この図鑑作成に際し、藤田小の児童が描いた絵で作成に参加できるようにし、2021 年より授業時間を使って、生物の絵を描き、生き物への観察眼を養うことや、興味喚起、観察画における特徴のとらえ方などの習得につながっている。説明文を文筆した河川研究班メンバーにとっては、その過程が生物や環境への理解につながっている。印刷した冊子は、河川調査での同定作業に役立てるとともに、市内小学校や地域で配布し、身近な河川の環境に興味を持つことにつなげたい。

### 4. 今後に残された課題

限られた印刷部数を有効に使用し、本庄市立藤田小学校や市内ほかの小学校でも配布する。理科の授業などでも日常的に使うことを期待し、環境教育に役立てられないかと考えている。また、紙面の都合で掲載を断念した種や、写真撮影が難しかった種などを増やした改訂版も検討するとともに、必要な人に広く提供するため Web 上での配信を考えたい。

